

公益財団法人ニューテクノロジー振興財団

平成26年度事業報告

1. 科学技術に関する普及、調査研究及びこれらに対する助成に関する事業

(1) メカトロニクス技術・ロボット技術の普及活動と助成事業

① マイクロマウス2014(第35回全日本マイクロマウス大会)の開催

「マイクロマウス2014実行委員会」(鈴木秀和执行委員長)を中心に計画・準備を行った。平成26年5月から翌年1月まで4度の実行委員会を開催したほか、各業務担当グループにおけるメーリングリストでは活発な議論が行われ、当日の運営についても、多くのボランティアグループの協力を得る体制がかなり完成度を高め、スムーズな運営を行う事が出来た。更に2年連続開催の計画が前提のため、その完成度はさらに高まることが期待されている。当年度のマイクロマウス2014の参加登録数382台(平成25年度:368台)と更に増加したほか、全競技種目においてすべて国内選手が優勝するなど、高い技術を活かしたロボットの活躍が多く見られた。また開催校の東京工芸大学の広報活動も功を奏し、期間中多くの家族連れや子ども達の来場が目についたのも今大会の特徴の一つと言える。

- ・会場：東京工芸大学 厚木キャンパス メインアリーナ
- ・日程：2014年11月21日(金)～23日(日)
- ・主催：公益財団法人ニューテクノロジー振興財団
- ・運営：マイクロマウス2014実行委員会(委員長：東京工芸大学 鈴木秀和)
- ・運営協力：マイクロマウス・サポーターズ、ほかマイクロマウス関係団体
- ・共催：東京工芸大学、公益財団法人つくば科学万博記念財団
- ・後援：経済産業省、文部科学省、厚木市、厚木商工会議所、厚木商工会議所 ATSUMO、
公益社団法人計測自動制御学会、一般社団法人日本機械学会、
一般社団法人日本ロボット学会
- ・特別協賛：株式会社アールティ、オリエンタルモーター株式会社、
バンダイナムコグループ、マイクロテック・ラボラトリー株式会社
- ・協賛：株式会社イクシスリサーチ、NKKスイッチズ株式会社、エフテック株式会社、
光進電気工業株式会社、スマッツ株式会社、ライフロボティクス株式会社

株式会社三平商会、株式会社明輝、メカトロ工房

- 賞品提供：株式会社秋月電子通商、ヴイストン株式会社、オリエンタルモーター株式会社、近藤科学株式会社 ROBOSPOT、サンコーレアモノショップ、双葉電子工業株式会社、ライフロボティクス株式会社

- 参加登録総数：382台（昨年度総数368台）

	参加登録台数	昨年参加台数
・ロボットレース競技	123台	126台
・マイクロマウス競技（フレッシュマンクラス）	104台	115台
・マイクロマウス競技（エキスパートクラス）	72台	83台
・マイクロマウス（ハーフサイズ）競技（フレッシュマンクラス）	46台	---台 ※今年度新設競技
・マイクロマウス（ハーフサイズ）競技（エキスパートクラス）	37台	44台

※参加者種別比率

	種別	人数	比率(%)
1	社会人	102	27
2	大学・大学院	202	53
3	専門学校/高校/中学等	78	20
	合計	382	100

※当年度より、表彰式前に初めての技術交流会を開催したところ、参加者には大変好評を博した。競技終了後の1時間程に、上位入賞者を始め参加者が自由に自分のロボットを持ち寄り、技術的な情報交流を積極的に図って貰う事を意図したもので、海外選手を含む多くの参加者が最後まで熱心に質疑を行っていた。

② マイクロマウス地区大会等の開催と助成

昨年同様、下記の地区大会・学生大会を共催すると共に助成を行った。

- 7月20日 金沢草の根大会 金沢工業高等専門学校
参加登録総数36台（シード2台）
- 9月7日 中部地区初級者大会 名古屋工学院専門学校

参加登録総数 37 台 (シード 0 台)

- ・ 9 月 21 日 関西地区大会 立命館大学 (初開催)
参加登録総数 47 台 (シード 2 台)
- ・ 10 月 5 日 東日本地区大会 科学技術館 (東京)
参加登録総数 77 台 (シード 4 台)
- ・ 10 月 12 日 東北地区大会 長井市地場産業振興センター
参加登録総数 53 台 (シード 3 台)
- ・ 10 月 19 日 北陸信越地区大会 新潟大学
参加登録総数 23 台 (シード 2 台)
- ・ 10 月 25 日 九州地区大会 熊本高等専門学校
参加登録総数 25 台 (シード 2 台)
- ・ 10 月 26 日 中部地区大会 名古屋工学院専門学校
参加登録総数 67 台 (シード 2 台)
- ・ 11 月 2 日 全日本学生大会 芝浦工業大学
参加登録総数 145 台 (シード 3 台)

③ つくばチャレンジ 2014 の開催協力

- ・ 日程 : 2014 年 11 月 16 日 (日) 本走行
- ・ 主催 : つくばチャレンジ実行委員会、つくば市、
- ・ 協力 : 当財団ほか関係団体
- ・ 参加 : 参加登録 48 チーム中、44 チーム (ロボット数 50 台) が参加
 - ・ チャレンジ課題達成 : 4 台

尾崎研究室 (宇都宮大学) (sara)

筑波大学 知能ロボット研究室 robolin.jp (Rossy)

防衛大学校 滝田・伊達研究室 (Smart Dump 8)

群馬大学・ミツバチーム (MG14)

- ・ 課題コースの自律走行達成 : 4 台
- ・ その他、トライアル区間の自律走行達成 : 8 台

(2) メカトロニクス技術・ロボット技術に関する広報事業

① つくばチャレンジ2014に関するシンポジウムの開催

- ・日時：2015年1月6日（火）10時～16時
- ・講演会：筑波大学会館ホール
 - ・実行委員長によるつくばチャレンジ2014の総括
 - ・課題達成チームによる技術内容紹介
- ・ポスターセッション：国際総合交流館および大学会館講堂ロビー
 - ・つくばチャレンジ2014参加チームによる技術発表

② その他の普及活動

一般財団法人日本視聴覚教育協会他と共催し、全国こども科学映像祭を実施。

表彰式・上映会：2014年12月14日(日) 科学技術館

文部科学大臣賞(最優秀作品賞)

- ・小学生部門：「アリジゴクの変身と巣のひみつ」
長野市立長沼小学校4年の中沢藍さんと父の英明さん
 - ・中学生部門：「ヒトは壁を登れるか」
東京都八丈町立三原中学校サイエンス部壁登り班
沖山颯斗さんら3人と部活顧問の川畑喜照教諭
- その他「優秀作品賞」4点、「佳作」8点、「特別賞」2件を授与した。

③ その他の広報事業

ホームページ上で財団アクティビティ情報の更新、マイクロマウス2014の結果ならびに地区大会結果の掲載ほか、メールマガジンの発行等の情報提供を実施。

(3) 情報交流および国際交流事業

International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS 2014)の開催協力

日時：2014年9月14日～18日

場所：シカゴ、イリノイ州（米国）

当年度のNTF Awardは該当者無しとなった。

(4) その他

財団事務所の移転について

貸主都合により、平成26年7月29日に、東京都大田区矢口二丁目1番21号から、東京都世田谷区上用賀三丁目6番16号へ」移転した。

以上